

令和5年度作手地域自治区予算事業候補の検討資料

【第2回に出された意見】

分野	課題・困りごと・状況・理由など
【高齢化】	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化・過疎化が進み、地区のコミュニティが崩壊してしまっている。 ○地区の役員のなり手がなくなっている。 ○行政区の再編もこれからの課題。 ○都会でも同じことが起こっている。若い者が結婚しても子供をつくらない。 ○土砂災害警戒区域で住めなくなっている。 ○働く場所がない。 ○消防団活動が嫌で若者が出ていく、若い人たちが済みたくない理由のひとつ。 ○高齢者をどのように見守るか。(コロナの問題もあり) ○孤独死が心配されている。地域で何かできないか。一人暮らしや高齢者の見守りには、地域内で情報の共有、隣同士の交流、コミュニティが必要。 ○若者が定住できる魅力ある地域づくりが課題となる。
【道路】	<ul style="list-style-type: none"> ○雪が降ると歩道へは融雪剤を散布してくれないので、子供が通学等で危険ではないか。滑って転ぶ危険性があるので、何かできないか。
【廃校施設】	<ul style="list-style-type: none"> ○廃校施設の話で、例えば旧開成小学校の遊具は、使えないようロープでしばってあるが、老朽化が進んでいるので、使えないなら撤去する、または直すなどの対応をしてほしい。数年間も同じ状態が続いている。
【観光・歴史遺産】	<ul style="list-style-type: none"> ○善夫の涼風の里の川は、夏に川遊びなど観光客が大勢くるので、整備してはどうか。 ○「どうする家康」に向けて。地元奥平氏、菅沼氏をもっと盛り上げたい。石碑のある山がゴミだらけなので、どうにかしたい。
【安全安心】	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールガードについて、今は完全ボランティア。保険など保障が必要ではないか。 ○暴走車の問題をどうにかしてほしい。(田原のあたり)
【交通】	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生の通学手段。バス時間が合わず、親が駅まで送り迎えしていて親の負担が大きい。特に作手地域で働いている人は下まで送り、また登ってきて仕事となり負担となっている。デマンドバスが下山まで行くようになり、すごい第1歩と思う。今後は、デマンドバスの利用が、例えば本宿駅まで行けるようになると、子供の進路が広がりよいのではないか。
【こども】	<ul style="list-style-type: none"> ○こども園の砂場は、未満児の子などは口に含んでしまうこともあるので、砂替えができるとよい。 ○こども園の園庭は水はけが悪い。 ○こども園の園服が高い(6,000円程)。卒園や成長などで、不要となった園服を、友人から友人だけでなく、必要な人へ引き継げるようになるとよい。また、園服だけでなく、道具などをリユースできるシステムが地域ぐるみで、できるとよい。
【継続課題】	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年継続の事案(空き家対策・亀山城址の整備)を、進め方など具体的にできるよう進めていく必要がある。